

令和5年度 学校評価（年度末評価）

令和6年3月
愛理県立東海南高等学校

本年度の重点目標		①バランスの取れた全人的な成長のための教育活動の充実 ②進路希望の実現に適した教育課程の選択による学びの充実 ③目標と過程を明確にして学びに向かう姿勢を育てる指導の充実 ④主体性と協働する力を育てる部活動や学校行事の実践 ⑤生徒一人一人の心身の健康を支える支援の充実 ⑥職員の業務改善の推進		
分掌	項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題 （※は課題）
教務部	学習指導	・確かな学力の育成をめざした指導の充実 ・業務の分担・効率化	・確かな学力の育成をめざし、あいちラーニングを意識した主体的・対話的で深い学びとなる指導法を工夫し授業改善に努める。特に「学びへ向かう力」の育成へ重点を置く。 ・全体を考えた役割分担と、役割の中で負担偏重とならないような業務の分担化をし、様々な場面で臨機応変に分掌員が分掌員をサポートし、円滑な業務進行を心がける。	・「確かな学力の育成」に向け、授業研修などを利用して全教員があいちラーニングを意識した実践を行うことができた。 ・ICT機器の利用が促進され、生徒への効果的な指導への取組が多くある場面で実践された。 *各教科間でさらに情報共有し、よりよい評価方法を確立する。 *ICT活用における教員のスキルアップ。
総務部	防災教育	・防災教育の充実	・定期的に防災委員会を開催し、防災だよりを発行するなど、日常的に危機管理・安全意識を高揚させる啓蒙活動を行う。 ・「高校生防災セミナー」参加者を中心に、避難訓練のやり方を見直しを図る。	・「高校生防災セミナー」の参加者を中心に本校の避難訓練について見直し機会を得た。 ・シェイクアウト訓練を行い、防災訓練を行うことができた。 *非常放送設備使用法的全職員への周知。 *防災委員会活動の活性化。
生徒指導部	生徒指導	・挨拶のできる生徒の育成 ・時間を守ることのできる生徒育成 ・いじめ、盗難等のない安全で安心できる学校づくり	・挨拶や受け答え、職員室・体育教育室の入室等大人の対応ができること。 ・8時30分までに校門を通過することや学校行事など集団が集まる時に、時間を守るができること。 ・ボランティア活動や行事、講話等を通して「おもいやり」のある行動がとれること。	・自主的に挨拶ができる生徒が少しずつ増えている。 ・生徒も参加する交通安全指導を定期的実施した。 *増加する遅刻・欠席への対応。
進路指導部	（キャリア） 進路指導	・キャリア教育の充実に向けた指導運営体制づくり ・大学入試の変化への対応策の構築	・系統的な進路行事を計画的に実施し、また進路情報の積極的な発信をすることにより、生徒が主体的に自らの進路目標を設定できるようにする。 ・大学入試に関する情報収集と整理・検討を学年と連携を取って適切に行い、職員間で共有する。	・講演会をはじめとする各種行事を計画・予定通りに実施できた。 ・新旧担任会や進路研究会を通して情報共有し、生徒への指導に役立てることができた。 *新課程入試の情報共有。 *模擬試験の結果を分析し、教科指導に生かす。
保健部	環境整備 ・安全 教育	・健康観察の徹底及び傷病発生時の防止 ・校内清掃とゴミ分別の徹底	・HR担任による朝の健康観察を徹底する。 ・「ほけんだより」において傷病予防等を扱い、注意喚起する。 ・各清掃担当教員からの清掃指導を充実させるとともに、美化委員からの声掛けにより教室でのゴミ分別を徹底する。	・健康観察を適切に実施し、保健だよりを定期的に発行した。 ・ゴミの分別を通して、美化委員の環境に対する意識が高まった。 *心の不調を訴える生徒の増加。 *特別教室や体育館等共有スペースでのゴミの分別。
情報研修部	情報 ・視 聴覚	・教育活動における安全安心な学習用パソコン等の活用推進及びサポート ・学習用パソコン等を安全安心に使用できるルールづくり及び見直し	・各学年に担当者を配置するなど、学年及び教科のサポート体制を強化し、ロイノート、スタディオアプリ、Microsoft Teams等の学習アプリの活用推進を図る。 ・学習用パソコン等の使用に関する基本的方針や利用規定について説明する場を設け、周知徹底を図る。	・タブレット配布により、生徒一人ひとりの学習の効率化を図ることができた。 ・自動採点システムの導入により、業務の効率化され、生徒の学習指導の時間の充実につながった。 *学習用パソコン等利用ルールおよび取扱いについて注意を徹底する。
1年	学年 経営	・高校生としての生活習慣の確立 ・学力の基盤を身につける。	・安易な遅刻や欠席をなくするため、担任や学年の教員でこまめな声掛けをする。 ・部活動に積極的に参加し、健康的でたくましい身体を育成する。 ・課題を確実に提出させることにより、学習リズムの確立、学力の定着を目指す。	・提出期限を意識して家庭学習に取り組む習慣ができた。 ・日ごろの学習が模擬試験の結果にも反映された。 *精神健康度、コミュニケーション能力を高める。
2年	学年 経営	・中心学年として、行事・部活動等、後輩の模範となる行動ができるように指導する。 ・ICT機器を自らコントロールできるように指導する。 ・高い目標に向け、幅広い学力定着を目指し努力するように指導する。	・学校行事や部活動などを通して、どのような行動が模範となるか実践し、学ぶ。 ・ICT機器を積極的に活用し、効果的な活用法を伝える。 ・進路意識を高めさせ、できるだけ高い目標を持たせるようにする。	・担任会での生徒情報を、副担任にも共有することができた。 ・模擬試験の結果分析を通して、学年全体で意識を高める取り組みができた。 *心の不調を訴える生徒の増加と対応。
3年	学年 経営	・規則正しい生活を心がけ、心身の健康を保てるように指導する。 ・進路目標を明確にし、実現させることができるように指導する。	・生徒の些細な変化も見逃さず、職員間の情報交換を綿密に行う。心身のケアをサポートし、生徒が受験勉強によりよいコンディションで臨めるように努める。 ・探究活動を通して生徒の進路目標を明確にする。 ・目標へ前向きに取り組むことができるような声掛けを学年団全体で行う。	・担任会でベテランの先生方の意見を頂きながら円滑に指導方針を決めることができた。
安全衛生委員会	長 健 康 間 隙 防 止 に よ る	・業務内容の点検と平準化	・タブレット端末のログイン・ログアウトによる正確な在校時間を確認し、その内容における各自の改善点を認識し、在校時間短縮に努める。 ・考査期間や長期休業期間を利用し、年5日以上の年次休暇取得を目指す。 ・他校の様々な状況を伝えるなどして自覚を促し、改善を図る。 ・県立学校における長時間労働による健康障害防止のための面接指導実施要綱に基づく在校時間等の状況記録の集計結果等を安全衛生委員会等で確認し、1カ月間の時間外労働が80時間を超える職員に対して、そのつど面接指導の希望の有無について確認し、職員の健康障害防止に努める。	・年次休暇について、積極的に取得するよう声をかけた。 *書類やデータを整理し、業務を標準化する。 *職場環境を整え、作業の効率化を図る。
いじめ防止委員会	基 基 い づ 本 じ く 方 め 取 針 防 止 に 止	・いじめの防止と早期発見に向けての組織的な取組	・教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育の充実を図る。 ・全職員研修を通して、いじめに対する共通理解を図り、適切に対応できる力を涵養する。 ・学年会・担任会での情報を集約し、迅速に対応する。	・いじめを未然に防止し、把握するためにいじめ調査を定期的（年4回）実施した。 ・調査をもとに迅速に対応できた。 *SNSにまつわるトラブルへの対応。
管理職	適 勤 正 常 な 時 間 管 理 の	・業務内容の点検と平準化	・分掌毎の業務内容を点検し精選を図る。 ・会議におけるICT化をさらに進め、時間短縮とペーパーレス化に努める。 ・愛知県立学校の教職員の業務量の適切な管理等に関する規則・方針に基づき、在校等時間を客観的に把握し、時間外在校等時間の上限（1カ月45時間、1年360時間）が遵守できるように業務改善・分担の見直し等を行う。	・定時退校日や勤務時間の割り振り活用について周知し、教員間で共有できた。 ・朝の打合せや会議のペーパーレス化が定着した。 *業務内容を点検するとともに見直しをもって取り組むことを促す。 *休暇を取得しやすい環境を整える。